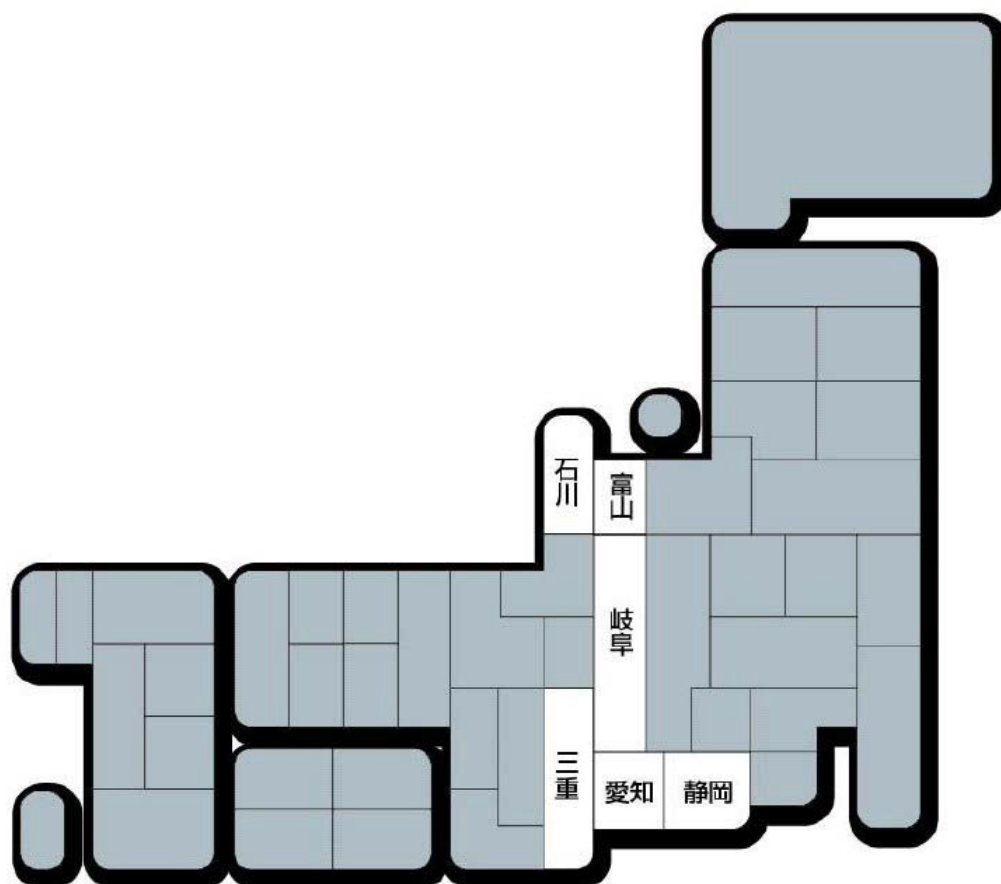


# 東海北陸国立病院薬剤師会

## 会誌



THP Tokai Hokuriku National Hospital Pharmacists Association



Vol.34

2025.10

# 目次

## 【巻頭言】

名古屋医療センター 平野 隆司 ..... 1

## 【施設紹介】

東名古屋病院 林 誠 ..... 3

## 【委員会報告】

### ○教育研修委員会

名古屋医療センター 平島 学 ..... 5

### ○業務推進委員会

東名古屋病院 安藤 舞 ..... 13

### ○学術研究委員会

三重病院 山本 高範 ..... 16

## 【編集後記】

..... 19

「骨太の方針 2025」が 6 月 16 日に、閣議決定されました。骨太というと某乳製品メーカーの商品が思い浮かびますが、「骨太の方針」とは、政権の重要課題や翌年度予算編成の方向性を示す方針で、正式名称は「経済財政運営と改革の基本方針」です。医療に関連する分野としては、OTC 類似薬の保険給付の在り方の見直し、地域フォーミュラの全国展開、新たな地域医療構想に向けた病床削減、医療DXを通じた効率的で質の高い医療の実現などが挙げられています。

病床削減は、自由民主党・公明党・日本維新の会の 3 党が「2027 年 4 月の新地域医療構想スタートまでに病院病床 11 万床を削減する」などの方針を固めたもので、医療費削減のために、必要病床数を超える一般・療養 5 万 6000 床、精神 5 万 3000 床を削減する方針とされています。11 万床は日本の病床数の約 1 割の削減となります。骨太の方針では、「人口減少等により不要となると推定される一般病床・療養病床・精神病床といった病床について、地域の実情を踏まえた調査を行った上で、2 年後の新たな地域医療構想に向けて、不可逆的な措置を講じつつ、調査を踏まえて次の地域医療構想までに削減を図る。」とされており、地域の医療ニーズに応じ、ダウンサイジング、機能転換が求められます。地域の医療ニーズとありますが、地域によっては少なくなる患者のパイを奪い合っている現状もあります。

NHO は独立行政法人移行時 154 施設で始まり、現在 140 施設ですが、私が就職した頃は 200 近い施設があったと思います。NHO は急性期病棟中心の病院や、いわゆるセーフティネット系の病院など、その機能・役割は病院ごとに様々であり、また、新興感染症や災害への対応も積極的に実施しておりますが、安泰ではなく、地域の状況を踏まえて再編・統合・移譲などで徐々に減少しています。私が賃金職員で勤務した金沢若松病院も統合でなくなっています。個人的には当時の名古屋病院から医師が楽しそうに派遣されていた南伊豆の湊病院に興味ありましたが、移譲され残念でした。急性期病院であっても、病棟の一部を地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟への変換される可能性もあります。

NHO の昨年度経常収支は法人発足以来最悪の危機的な状況であり、現在の病床を維持するためには、経営改善が必須です。薬剤師が関連する診療報酬では、薬剤管理指導料、病棟薬剤業務実施加算などが比較的大きな点数なので件数増加、加算取得も目指すべきですが、地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟は包括のため算定できず、ポリファーマシー対策の薬剤総合評価調整加算ぐらいしか算定できません。また、NHO の 87 施設が算定している障害者施設等入院基本料の病棟は、薬剤管理指導料は請求可能ですが、病棟薬剤業務実施加算、薬剤総合評価調整加算は算定できません。地域包括ケア病棟

や回復期リハビリテーション病棟の病棟薬剤業務実施加算の算定は日本病院薬剤師会が要望していますが、障害者施設等入院基本料病棟の病棟薬剤業務実施加算は要望さえされておらず、NHOが薬剤師介入効果の実績を示す必要があります。第79回国立病院総合医学会では、「セーフティネット系医療充実のために薬剤師ができること」というテーマでセーフティネット系医療の中でも、重症心身障害、神経筋難病に焦点を当て、薬剤師業務の現状と課題についてシンポジウムが開催されます。重症心身障害は30～40%、神経筋難病の筋ジストロフィーは90%がNHOにいる患者さんであり、セーフティネット系施設は定数が少なく大変ですが、この分野で薬剤師の活動をアピールすることはNHOの使命かと思えます。シンポジウムを盛り上げるために、お魚が美味しい金沢に行きましょう（この会誌の発行時期には開催済みかもしれませんが）。

ただし、セーフティネット系施設で病棟薬剤業務実施加算の算定が可能になったとしても、病棟薬剤業務実施加算で薬剤師の人件費を賄う場合、150床程度の算定で得られる診療報酬でようやく1人分といわれており、現状の点数では厳しい状況です。薬剤師が得られる医業収益で人件費を賄うのは困難ですが、病院薬剤師の業務は多岐に渡り、直接の診療報酬が認められている業務だけではなく、診療報酬が認められていない業務を行っているケースも多数あります。DPCでの後発品使用、薬価改定時の在庫の調整、適切な在庫管理による期限切れ医薬品の削減などあまり表面にはでないような努力も地道にし、少しでも経営に貢献、また薬剤師増員のためにも病院にアピールできればと考えています。

## 東名古屋病院紹介

東名古屋病院は、名古屋市名東区の東端、日進市との境界に位置し、豊かな自然に囲まれた静かな環境の中にあります。当院は、かつて結核療養所として設立された「梅森光風園」を前身とし、結核患者の治療に尽力してきました。しかし、結核の減少に伴い、昭和43年（1968年）には「八事療養所」と統合され、「国立療養所東名古屋病院」として新たな歩みを始めました。その後、昭和50年（1975年）には神経内科と重症心身障害児者医療を開設し、昭和54年（1979年）には附属リハビリテーション学院を設立するなど、医療体制の充実を図ってきました。平成16年（2004年）には、国立病院が独立行政法人化され、「国立病院機構 東名古屋病院」として現在に至っています。現在、当院は「地域医療構想」の制度のもと、慢性呼吸器感染症、神経難病、脳卒中および骨折などの整形外科疾患に対する回復期リハビリテーション、そして重症心身障害児者医療の4領域を入院診療の柱とし、地域医療への貢献を続けています。



薬剤部では病棟活動の特徴として、結核病棟における処方支援や、DOTS（直接服薬確認療法）による服薬管理を行っています。また、神経難病病棟や回復期リハビリテーション病棟の入院患者が、退院後も安心して在宅で薬物療法を継続できるよう、保険薬局との薬薬連携を推進しています。さらに、重症心身障害児者への薬物療法支援にも力を入れており、特に在宅移行患者に対しては、ポリファーマシー（多剤併用）の解消に向けた薬剤調整を積極的に行うことで、安心して薬物療法を継続できる体制づくりに努めています。加えて、当院では特定領域の疾患が多いことから治験にも積極的に取り組んでおり、進行性核上性麻痺やALSなどの神経内科疾患、深在性真菌症などの呼吸器感染症において、成果を挙げています。

東名古屋病院公式キャラクター「ウメモリん」は、病院所在地である梅森坂にちなんだ愛らしい姿をしており、職員に求められる姿勢を象徴しています。「う」はウェルビーイング、「め」は目の前の相手への思いやり、「も」は目標に向かって主体的に学ぶ姿勢、そして「りん」は倫理観に基づいた行動を意味しています。私たち東名古屋病院の職員は、この「ウメモリん」の精神を胸に、日々患者さんの診療に真摯に取り組んでいます。

現代は「VUCAの時代」と呼ばれ、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）という4つの要素が社会に大きな影響を与えています。このような先行きの見えない時代を生き抜くために重要とされるのが、「ネガティブ・ケイバ



ビリティ」という考え方です。これは、すぐに答えが出ない状況や、対処が難しい事態に耐える力を意味します。制約が多く、不安定な時代においては、性急な結論や過激な意見に飛びつくのではなく、「急がず、焦らず、耐える力」が求められます。今の状況に耐えている自分自身を認め、褒めてあげることもまた、大切な能力の一つだと言えるでしょう。

文責 林 誠

## 教育研修委員会の活動報告(令和7年10月)

教育研修委員長

平島 学

長年にわたり多くの先生方にご協力をいただきながら教育研修委員会が主催してきました「採用薬剤師研修会」は、新人の横のつながりを構築するために大変有意義な研修である反面、土日開催・現地集合型の研修として受講生やタスクにとって精神的・身体的な負担が大きく、また移動や宿泊にかかる費用等の課題も抱えておりました。そのため、受講生およびタスクの研修への参加を業務として位置付け、平日2日間で開催できるように、令和5年よりNHO 東海北陸グループ研修とする手続きを進めておりました。

令和7年度よりNHO 東海北陸グループの研修として承認され、「NHO 東海北陸グループ 新規採用者研修(薬剤師)」に名前を改め、開催することができました。

教育研修委員会では、これまで蓄積してきた採用薬剤師研修会の運営ノウハウを活かし、今後も引き続き協力してまいります。これからは教育研修委員会のみならず、THP全体で多くの先生方に新人教育へのご支援を賜れますと幸いです。

今年は久しぶりの2日間の対面による開催でしたので、受講生ができるだけ緊張せず、受講生同士が気軽に交流できる環境づくりを目指し、堅苦しくなく明るい雰囲気での運営を心がけました。また、新たな研修プログラムを綿密に計画・準備した結果、参加者からは「満足度の高い研修だった」との評価を多数いただくことができました。

「同期と交流を深めることができた」「横のつながりができた」といった声も寄せられ、同期と過ごす2日間の意義と楽しさを改めて実感していただけたのではないかと感じております。一方で、初の試みであったことから、プログラムにやや詰め込み過ぎた面もあり、「時間が足りない」との意見も一部ありました。

次年度は、プログラムにもう少し余裕を持たせるとともに、同期との交流をさらに深め、現場で即活用できる内容へとブラッシュアップを図っていきたいと考えております。

今回は、「令和7年度 NHO 東海北陸グループ 新規採用者研修(薬剤師)」について、詳細をご紹介します。

◆ 令和 7 年度 NHO 東海北陸グループ 新規採用者研修(薬剤師)

開催日:令和 7 年 6 月 26 日(木)~6 月 27 日(金)

開催場所:名古屋医療センター 特別会議室

受講生 :15 名

受講生と世話人の全体写真



令和 7 年度は平成 30 年のグリーンプラザみやまコテージ村(岐阜県山県市)での採用薬剤師研修会以来、久しぶりの 2 日間の集合研修として開催することができました。

新採用薬剤師が互いにコミュニケーションを取れる時間を十分に確保したうえで、従来の症例検討を行う研修内容に加え、実務に即活用できるような以下テーマを新たに追加しました。

【NHO 講師】

「NHO-PAD を用いた自己評価」

「プレアボイド報告/副作用報告」

「薬剤関連の診療報酬点数について」

「私が専門薬剤になったわけ」

【外部講師】

「社会人マナーと電話対応/疑義照会対応演習」

「バイタルサイン研修」

# 研修スケジュール

令和7年度 独立行政法人国立病院機構 東海北陸グループ  
新規採用者研修（薬剤師） 日程表

令和7年度 独立行政法人国立病院機構 東海北陸グループ  
新規採用者研修（薬剤師） 日程表

時間	内容	形式	講師等
9:30～	受付		
10:00～10:05	5 開会挨拶	全体	東海北陸グループ 田中 昭彦 小寺 義弘
10:05～10:10	5 世話人紹介・講師紹介	全体	豊洲医療センター 田中 昭彦 小寺 義弘
10:10～10:20	10 国立病院機構(SHG)とはどんな組織？	講義 (PLS)	東海北陸グループ 藤原 雅之
10:20～10:25	5 説明	(PLS)	二重中央医療センター 田中 昭彦 小寺 義弘
10:25～10:50	25 NHO-PAD で自己評価してみよう	グループワーク (SGD)	TF
10:50～11:00	10 全体発表	(PLS)	三重中央医療センター 田中 昭彦 小寺 義弘
11:00～11:20	20 説明	(PLS)	名古屋医療センター 田中 昭彦 小寺 義弘
11:20～12:10	50 プレゼンポスター報告をしてみよう 安全性情報報告をしてみよう	グループワーク (SGD)	TF
12:10～12:20	10 全体発表	(PLS)	名古屋医療センター 田中 昭彦 小寺 義弘
12:20～13:20	(60) 昼食		
13:20～14:10	50 社会人マナーと電話対応	講義 (PLS)	中京薬品株式会社 中村 幸子
14:10～15:10	60 疑義照会対応、他の医療スタッフからの 問い合わせ対応について自信をも って行ってみよう	実習 (SGD)	中京薬品株式会社 中村 幸子
15:10～15:20	(10) 休憩		
15:20～15:50	30 薬剤関連の診療報酬点数について	講義 (PLS)	津市入舟の診療報酬センター 田中 昭彦 小寺 義弘
15:50～16:55	5 薬剤管理指導におけるSOAPの作成と 患者指導・症例提示と入院患者の簡易抽出	説明 (PLS)	豊洲医療センター 田中 昭彦 小寺 義弘
16:55～17:50	55 グループワーク	(SGD)	TF

SGD : Small Group Discussion グループ討論  
PLS : Plenary Session 全体セッション (発表)  
TF : Task Force 研修世話人

時間	内容	形式	講師等
9:00～9:05	5 薬剤管理指導におけるSOAPの作成と 患者指導・入院患者の問題点に対する薬剤師 連携等計画	説明 (PLS)	豊洲医療センター 田中 昭彦 小寺 義弘
9:05～10:20	85 グループワーク	(SGD)	TF
10:30～10:40	(10) 休憩		
10:40～11:00	20 薬剤管理指導におけるSOAPの作成と 患者指導・患者指導	講義 (PLS)	しあがせです診療グループ 代表 丸田 邦博
11:00～11:10	10 グループワーク	(PLS)	三重中央医療センター 田中 昭彦 小寺 義弘
11:10～12:00	50 コミュニケーション	講義 (PLS)	しあがせです診療グループ 代表 丸田 邦博
12:00～13:00	(60) 昼食		
13:00～15:00	120 バイタルサイン観察 ・はじめての心電図 ・検査結果の読み方 ・X線、CT画像の基本、これだけは 見逃さないサイン	説明 (PLS)	名古屋大学 田中 昭彦 小寺 義弘
15:00～15:10	(10) 休憩		
15:10～15:20	10 薬剤管理指導におけるSOAPの作成と 患者指導・患者指導	説明 (PLS)	名古屋医療センター 田中 昭彦 小寺 義弘
15:20～15:50	30 指導記録作成 ・ハイリスク薬等について	グループワーク (SGD)	TF
15:50～16:00	10 全体発表	(PLS)	名古屋医療センター 田中 昭彦 小寺 義弘
16:00～16:05	(5) 休憩		
16:05～16:35	30 私自身専門薬剤師になったわけ	講義 (PLS)	名古屋医療センター 田中 昭彦 小寺 義弘
16:35～16:40	5 開会挨拶	全体	東海北陸グループ 田中 昭彦 小寺 義弘
16:40～16:50	10 アンケート・集合写真	全体	名古屋医療センター 田中 昭彦 小寺 義弘

SGD : Small Group Discussion グループ討論  
PLS : Plenary Session 全体セッション (発表)  
TF : Task Force 研修世話人

## グループワーク風景



## 社会人マナー/疑義照会対応実習



## バイタルサイン研修



## 模擬指導



## 講義 薬剤関連の診療報酬点数について



## 講義 コミュニケーション 久田先生

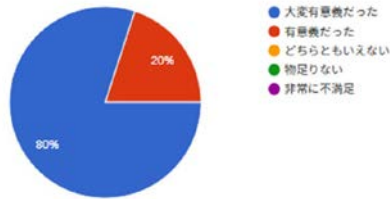


# アンケート結果

## 2. 今回の研修全般について評価してください。

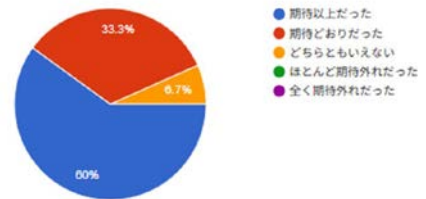
(1) 今回の研修は全体的にどのように感じましたか。 [グラフをコピー](#)

15件の回答



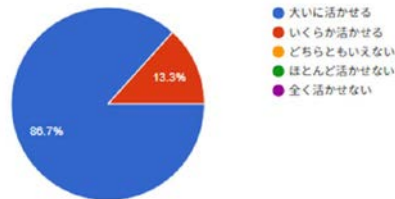
(2) 研修受講前に期待したとおりの研修内容でしたか。 [グラフをコピー](#)

15件の回答



(3) 今後の職務に活かせる研修内容でしたか。 [グラフをコピー](#)

15件の回答

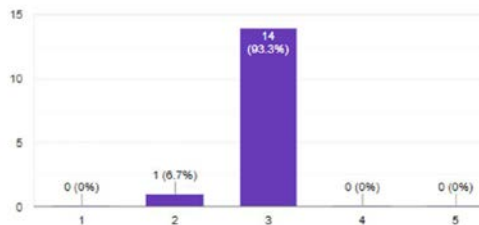


## 3. 各講義等について評価してください。

国立病院機構 (NHO) とはどんな組織? (1/12)

■講義内容の難易度は適切でしたか。(適切な場合は3) [グラフをコピー](#)

15件の回答

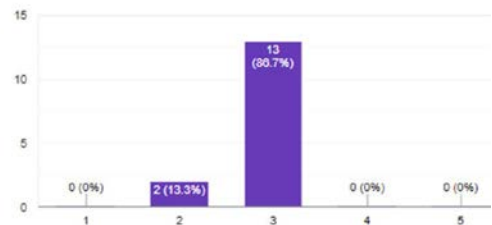


## 1 難易度高い ~ 難易度低い 5

NHO-PADによる自己評価 (2/12)

■講義内容の難易度は適切でしたか。(適切な場合は3) [グラフをコピー](#)

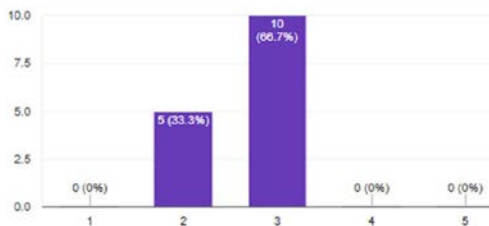
15件の回答



ブレアボイド報告・安全性情報報告 (3/12)

■講義内容の難易度は適切でしたか。(適切な場合は3) [グラフをコピー](#)

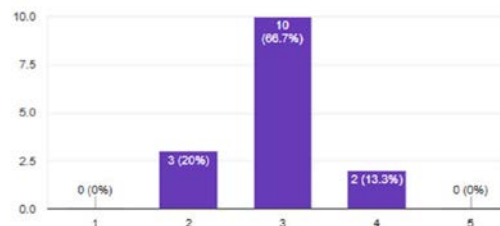
15件の回答



社会人マナーと電話対応・疑義照会対応 (講義・実習) (4/12)

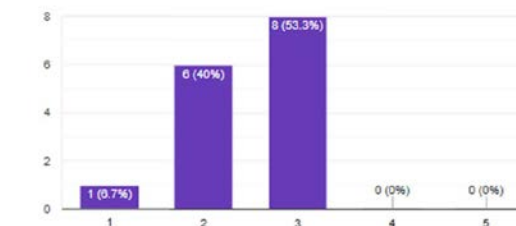
■講義内容の難易度は適切でしたか。(適切な場合は3) [グラフをコピー](#)

15件の回答



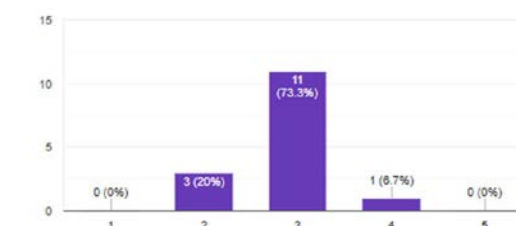
薬剤関連の診療報酬点数について (5/12)

■講義内容の難易度は適切でしたか。(適切な場合は3) [グラフをコピー](#)  
15件の回答



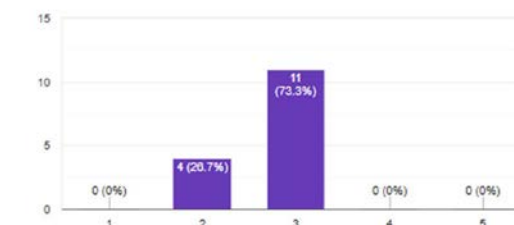
薬剤管理指導におけるSOAPの作成と患者指導 (症例提示と入院患者の問題点抽出) (6/12)

■講義内容の難易度は適切でしたか。(適切な場合は3) [グラフをコピー](#)  
15件の回答



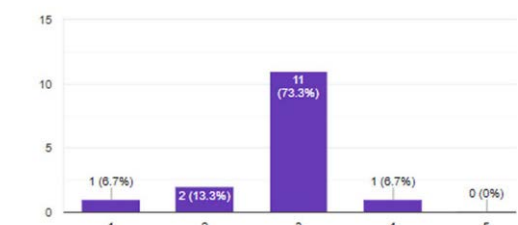
薬剤管理指導におけるSOAPの作成と患者指導 (入院患者の問題点に対する薬剤管理指導計画) (7/12)

■講義内容の難易度は適切でしたか。(適切な場合は3) [グラフをコピー](#)  
15件の回答



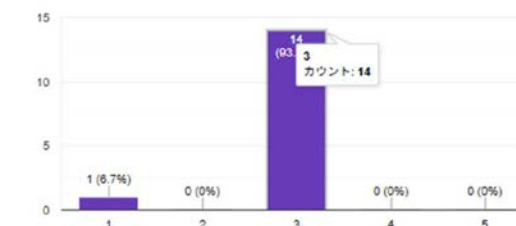
薬剤管理指導におけるSOAPの作成と患者指導 (患者指導) (8/12)

■講義内容の難易度は適切でしたか。(適切な場合は3) [グラフをコピー](#)  
15件の回答



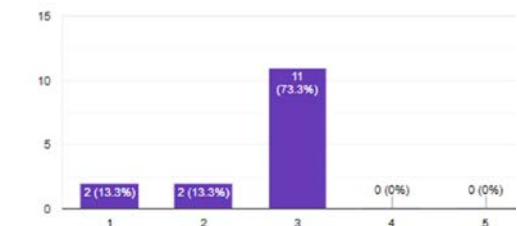
コミュニケーション研修 (9/12)

■講義内容の難易度は適切でしたか。(適切な場合は3) [グラフをコピー](#)  
15件の回答



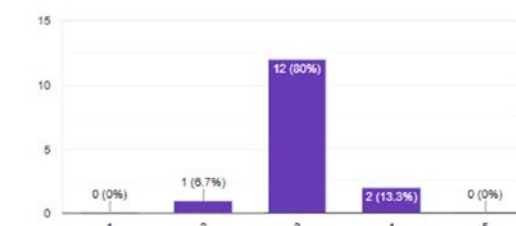
バイタルサイン研修 (10/12)

■講義内容の難易度は適切でしたか。(適切な場合は3) [グラフをコピー](#)  
15件の回答



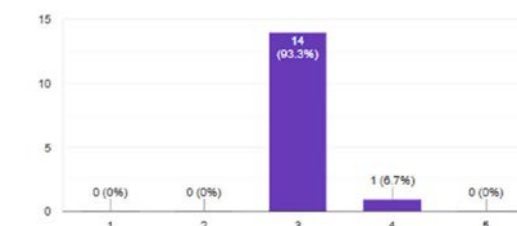
薬剤管理指導におけるSOAPの作成と患者指導 (指導記録作成・ハイリスク薬等について) (11/12)

■講義内容の難易度は適切でしたか。(適切な場合は3) [グラフをコピー](#)  
15件の回答



私が専門薬剤師になったわけ (12/12)

■講義内容の難易度は適切でしたか。(適切な場合は3) [グラフをコピー](#)  
15件の回答

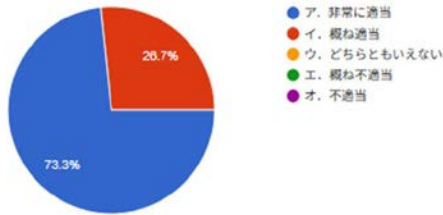


#### 4. 開催形式について

(1) あなたにとって、本研修の開催形式 (集合形式) は適当でしたか。

📄 グラフをコピー

15件の回答



(2) (1)でそのように考えた理由を記載してください。

- ・同期と交流を深めることができたから。
- ・前泊が必要だった。
- ・一つの場所で同期と顔を合わせて研修できるため。
- ・コロナ禍が訪れてからなかなか対面での交流が難しいにもかかわらず、丸2日にわたって講義やSGDを行えたからです。多くの先生方が関わってくださり、とても安心感がありました。平日開催なので、土日に休める時間があることで不安がなかったことも大きいです。苦手意識のあるSGDで褒めながら教育していただき、少し苦手意識が和らぎました。
- ・対面で同期や他施設の先生方と話すことができたことでSGDで意見を出し合うことができ、スムーズに進んだため。また、研修内容以外にも他施設の話が聞くことができたことで自分が所属する病院との違いを知ることが出来たため。
- ・実際に会って行うことでグループワークも円滑に進み、お互いのことを知れるから。
- ・実際に会う事でお互いに様々な話をする事ができるため。
- ・実際に顔を合わせることでより有意義な時間が過ごせたため。
- ・グループワークが多いので対面の方が話しやすいため。
- ・グループの同期と顔を合わせて研修することで、仲が深まり、楽しく研修することが出来ました。
- ・先輩薬剤師から以前はオンライン(ZOOM)開催であった際には、あまり交流らしい交流もできていなかったとのことでしたが、しっかり個人個人で交流ができたから。
- ・新規採用者同士で交流ができたから。
- ・集合することで他病院の同期と話せたのがよかった。
- ・交通の便が良いから。
- ・実務に必要なビジネスマナーや仕事に対する責任感をグループワークで学び、実践することができました。自分自身の強みや課題に気づくこともできたので今後の成長に生かしたいです。

#### 5. その他

(1) 今回の研修に期待していたことは何ですか。

- ・同期との交流・親睦を深める(7人)
- ・病院での社会人としてのマナーを身につける
- ・同期との交流や同期がどのくらいできるようになっているのか知りたいと思って参加しました。また、自分の今までの頑張りは適切だったかを振り返る機会にできたらいいなと思っていました。年上の先生方の人柄を感じて自分もこうなりたいという向上心をもちたいと思いました。長くNHOで働いていらっしゃる先生方の話を聞いて仕事の楽しさをもっと知りたいと思っていました。
- ・同期と仲を深めながら薬剤師として基礎的なスキル、知識を学ぶこと
- ・今後の薬剤師業務をより良いものにするためのスキルを得る。
- ・一番は横の繋がりを作ること
- ・バイタルサイン研修
- ・薬剤師として患者さんや他の医療従事者との関わり方を学びたいと思いました。
- ・バイタルサイン研修でバイタルがわかるようになること
- ・同期との交流により横のつながりを実感すること、薬剤師業務の基礎知識の習得
- ・他の施設の薬剤師との交流を通じて、馴染むきっかけ。チームワークや協調性の大切さを学ぶこと。

(2) 研修をより有効なものとするために必要だと思われる内容、取りあげてほしいテーマはなんですか。

- ・看護師さんからの質問に答えるSGDがあればありがたいです。分からないときにごまかしたり適当なことを言ったりするのではなく、分からないと正直に伝え、その後正確な情報を伝える練習ができればいいと思います。
- ・先輩の薬剤師の方々は今思う1年目にやっておいた方が良かったと思う事や、やっていて良かったと感じている事を少し聞いてみたいです。
- ・メールの書き方
- ・病院薬剤師は研究や論文発表を行っていると思いますが、そのハードルは非常に高く感じていて、その理由として研究や論文への理解不足があります。実際論文発表などをどのようにやっているかなど簡易的でいいので紹介していただければと、ハードルも少し下がる気がするのと興味付けもできるのではないかと感じます。
- ・18病院で特に力を入れている疾患・薬剤・取り組み方を共有する時間があると楽しいのかなと思いました。比較的他の病院グループよりも転勤の回数が多いため、転勤に対する不安は少なからずあるのかなと感じています。他の施設の特徴を事前に知っておくことで、様々なことを学ぶことができる楽しさを感じております。

(3) 現在あなた自身が業務上で悩まれていることはありますか、また、それに関連して今後受けてみたい研修はありますか。

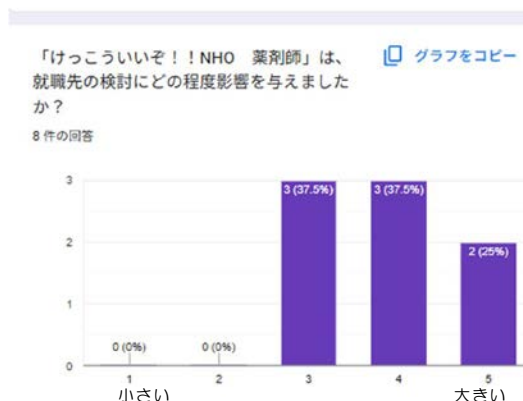
- ・ストレスマネジメントの講義があればありがたいです。ご多忙の中大変恐縮ですが、薬剤師の先生方にアンケートをとっていただいてどのように気持ちを切り替えているのか知れるととても嬉しいです。業務の仕方において、人によってやり方が違ったり正解がなかったりする場合の対応の仕方が難しいです。
- ・患者さんが辛いと思う症状や治療についての経験が自分になく、相談されたときに患者さんの辛さを軽く捉えてしまっていると感じることもあるため、実際に経験した人の話を詳しく聞いたり、体験したりする機会があれば参加してみたいです。

- ・研修ではありませんが、同じ病院内での他職種とのコミュニケーションの取り方を皆さんがどうやって行っているのを知りたいです。
- ・メールの正しい書き方について学びたいです。
- ・臨床における知識の勉強の仕方。
- ・輸液の研修があったら受けてみたい。
- ・インタビューフォームの読み方
- ・病棟業務の時間の枠が増えたことにより、カルテを記入する機会が増えました。SOAP の SO から分かることを評価するのがまだまだ難しいので、書き方をもう少し丁寧に学ぶ機会があれば幸いです。

(4)ご意見等ございましたらご自由にお書きください。

- ・発表の時にマイクを持たせてもらえたので聞きづらいことがなかったです。「意見を否定するのは控えよう」という助言のおかげでスムーズに話し合いが進みました。「発表者が困らないようにサポートしてあげてね」という声掛けがありがたかったです。今までの SGD ではどうしても発表者に負担や責任が集中しがちでしたが、今回はチームワークを意識して取り組めたのでよかったです。十分に SGD の時間をとっていただいていたのですが、時間が足りないと感じてしまっただけでまだ修行が足りないなと思いました。付箋の使い方が難しいなと思いました。字が小さいと発表時に見えづらく、大きく書くと書ききれないジレンマになりますが、一旦付箋に書いたものを白い紙に清書するほどの時間もないので苦戦しました。経験不足を痛感しました。
- ・今回の研修を通して今まで会ったことのない同期と会うことができ、横の繋がりを持つことができました。大変な部分もありましたが、とても良い経験となり月曜日からまた業務に励んでいきたいと思えます。このような機会を設けていただきありがとうございます。
- ・参加して良かったです、ありがとうございました。
- ・大変有意義な研修でした。準備をしてくださった先生方、ありがとうございました。
- ・楽しい研修でした
- ・お忙しい中開催していただきありがとうございます。仕方のないことであるのは承知しておりますが、内容の濃い研修をしてくださったため、所要時間が短いように感じました。もう少しグループで考える時間があれば幸いです。

2日間ではありましたが、顔を合わせて研修をすることで、はじめは表情が硬かった受講生も次第に笑顔がみられ、アンケート結果から研修自体の満足度は高く、THP に仲間がいること、その繋がり の大切さや貴重さを感じ取っていただくことができたと思います。また、従来の症例検討に加え、新たに追加したテーマも非常に好評であり、これらにより、離職防止と THP 薬剤師の能力強化の一助 になればと考えております。一方で、初めての研修形態で、講義を詰め込み過ぎたところもあり、時 間が足りなかったという意見もありましたので、来年度の研修に向けて改善できるよう検討してい きたいと思います。



受講生に対して、教育研修委員会が主催している「けっこういぞ！！NHO 薬剤師」について参加状況を聞いたところ、およそ半数が参加していることがわかりました。さらに、就職先の検討にもある程度影響を与えていることから「けっこういぞ！！NHO 薬剤師」の開催は継続していきたいと考えております。

## 業務推進委員会活動報告(令和7年9月)

業務推進委員会委員長  
安藤 舞

業務推進委員会は、今年度より新メンバーを加えて活動して参りました。

昨年度に引き続き、研修や業務量調査などの目的をより明確にするために委員会を「業務向上小委員会」、「業務改善小委員会」、「業務共有小委員会」の小委員会に分類し活動しております。

今回は2025年4月から2025年9月までの各小委員会の活動を報告させていただきます。

### 《業務推進委員会コアメンバー》

委員長	安藤 舞(東名古屋病院)
副委員長	細江 慎吾(静岡てんかん神経医療センター) 竹田 あかね(豊橋医療センター)
小委員会 コアメンバー	磯部 忠良(静岡てんかん神経医療センター) 伊藤 朱里(医王病院) 伊藤 大輔(静岡医療センター) 稲垣 雄一(静岡医療センター) 小島 朋大(鈴鹿病院) 坂井 翔太(名古屋医療センター) 春田 桃歩(三重中央医療センター) 深尾 那実(名古屋医療センター) 松岡 哲平(七尾病院) 松岡 まりあ(金沢医療センター) 山梨 領太(名古屋医療センター) 山本 正和(石川病院)

### ◆業務向上小委員会◆

#### ① THP プレアボイド大賞 WG

小委員長:松岡、山梨

この小委員会では、各施設の優良プレアボイド情報を収集・共有することで、日々の薬剤師業務内容の参考・向上につなげることを目的としています。

2025年6月の総会にて第7回 THP プレアボイド大賞の結果を報告させていただき、各施設に賞状、副賞を授与しました。

現在第8回 THP プレアボイド大賞準備を行っています。

### ◆業務改善小委員会◆

### ① 働き方改善 WG

小委員長:磯部、山本

このWGでは、家庭を持った女性薬剤師が働きながら業務をどのように両立させているかをインタビュー形式で聞き取りを行います。その内容をTHP会員で共有し、働き方を参考にし、会員で考えていくことを目的としています。

家庭を持たれている薬剤師の先生だけでなく、これから家庭を築かれる予定の先生方にもご一読いただき、今後の働き方の参考の一例としていただければと思います。

育児休暇を取得した男性薬剤師にインタビュー-2025年6月に「PharMAMA・PharPAPA～子育てしながら働く薬剤師～ Vol.9」を投函いたしました。

Vol.1～9については、THP HP 業務推進委員会書庫(下記リンクから会員ページに入ってください)よりご確認ください。

<http://www.tokaihokuriku-nhp.jp/kaishi/index.html>

### ② QC活動 多施設共同QC

小委員長:稲垣、伊藤朱、小島

業務推進委員会ではQC活動の推進も行っており、定期的な研修会を行っていました。新たな他施設共同QCを行うため、新メンバーを加えてテーマを選定中です。

### ③ 医療者のためのコミュニケーション研修(MBTI®を使って)＜教育研修委員会との共催＞

小委員長:深尾、安藤、竹田

MBTIは人の多様性や自分の心を理解することを目的として作られた、世界で最も有名な国際規格に基づいた性格検査の一つです。2025年9月に名古屋医療センターで令和7年度医療者のためのコミュニケーション研修(MBTI®を使って)を開催しました。昨年度に引き続き外部委託研修として開催し、MBTIの認定ユーザーである大里 洋一先生をお招きしました。セルフチェックリストによるタイプ分類を行い、グループワークによって自分の潜在意識の中にあるタイプを深く検証し、確定させていきます。

## ◆業務共有小委員会◆

### ① 薬薬連携 WG

小委員長:松岡ま、伊藤大、春田

このWGでは、THPの各施設で実施している薬薬連携を紹介して、薬薬連携の推進を目的としています。

今年度は薬剤総合評価調整加算についての取り組みを収集し、THP HPへ掲載予定です。

過去の取り組みについては、THP HP 業務推進委員会書庫(下記リンクから会員ページに入ってください)よりご確認ください。

<http://www.tokaihokuriku-nhp.jp/kaishi/index.html>

### ② チーム医療

小委員長:山本、深尾

2025年度のチーム医療担当者名簿を作成中です。

以上、委員会報告となります。

業務推進委員会では、少しでも THP 会員の業務遂行能力の向上や業務の効率化、業務の共有につながればと考えております。お時間あるときに HP をご覧いただき、会員の皆様の業務にお役立ていただきますようお願いいたします。

2025年9月24日

令和7年度前期学術研究委員会活動報告

学術研究委員会委員長 山本高範

1. 令和7年度会員研究実績（2025年4月～2025年9月）

国内外学術誌掲載（査読あり）

- 1) 大井勇秀「Diagnostic assistance provided by a pharmacist for the syndrome of inappropriate antidiuretic hormone secretion caused by carboplatin plus nab-paclitaxel chemotherapy in an elderly patient with lung cancer: a case report」*Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences*, 2025 Apr 23.
- 2) 山本吉章「Lacosamide Pharmacokinetics and Retention in Japanese Patients With Epilepsy: A Retrospective Study on the Influence of Age, Comedications, and Cytochrome P450 2C19 Polymorphism」*Ther Drug Monit.* 2025; 47: 407-412
- 3) 勝 弘毅「Assessment of the risk of developing cefepime-induced abnormal liver enzyme levels using the albumin-bilirubin score and fibrosis-4 index: a single-centre retrospective case-control study」*Journal of Antimicrobial Chemotherapy*, 2025 Aug 4.
- 4) 鈴木 亮平「回復期リハビリテーション病棟担当薬剤師による薬剤・処方要因への介入と看護師管理の Medikation エラー発生の実態調査」*日本病院薬剤師会雑誌*. 2025; 61: 391-395.
- 5) 鈴木 亮平「生理食塩液の最適な形態への注射オーダ変更プロトコール導入とその効果ー注射薬の最適な溶解液を選択するための薬剤師による処方支援ー」*医療薬学*. 2025; 51: 556-560.

2. 令和7年度 学術研究委員会コアメンバー会議

日時 2024年3月22日（土）14時30分～15時30分

開催方法：現地開催（名古屋医療センター）

協議・報告事項

1) 学術研究委員会の昨年度の統括と次年度以降の目標

学術研究委員会主催の発表会の見直しを行うことにより若手薬剤師の発表数は増えた。今後は全国の他学会での発表者数や複数査読の論文数を増やすため継続して研修会を行っていきたい。医療薬学会の専門薬剤師数と研修施設数は異動に伴うもの以外は昨年より変化はない。THP 会員が入職後より研究活動に取り組める環境を作り上げ、長期的には論文投稿まで完遂できる研究リーダーを育成し、THP から質の高いエビデンスを創出できることを目標とする。

## 2) 論文賞

令和6年度の論文数は8報であった(前年度比-5報)。複数査読の学術誌にアクセプトされた6名の先生(大井勇秀先生、早川裕二先生、築川樹先生、春田桃歩先生、中村あゆみ先生、鈴木亮平先生)に論文賞(ギフトカード5000円)を贈呈する。

なお、山本吉章先生(本賞の創設者)は対象外とする。

## 3) 研究会、勉強会について

令和6年度と同様に夏季にTHP合同症例カンファレンスを平日に完全Web開催、冬季に研究・取り組み発表会を休日にハイブリッド開催とする。両会とも各施設1演題はエントリーできるよう事前に準備をすすめる。本会を契機に次の全国学会で発表できるよう目標を設定する。「Web論文抄読会」、「臨床研究の第一歩を踏み出そう!取り組み報告・現状調査をしてみよう」は、令和6年度と同じ頻度で開催する。また、研究の基礎と一連の流れを学ぶ「臨床研究の進め方に関するオンデマンド研修会」は通年視聴できるようにし、次年度も新しいコンテンツを追加する。しかし、会自体を把握していない会員もおり、学術研究委員会が行う各企画にて視聴を呼びかけ認知度を上げていく必要がある。開催方法は、収録は現地開催とし、同日にコアメンバー会議も行う。今後は資格取得に関連した研修会の企画も検討していく予定である。

## 4) 令和7年度 共同研究計画

今年度も共同研究を積極的に進めていく。

## 5) 実施体制

前述のメンバーで学術研究委員会を運営する。活動内容と担当者については下図参照。

研究討論・発表会(臨床研究の第一歩含む)	論文抄読会
鈴木 亮平 三重中央医療センター	座光寺 伸幸 静岡医療センター
大月 慎之助 金沢医療センター	鈴木 亮平 三重中央医療センター
大井 勇秀 三重中央医療センター	田代 匠 金沢医療センター
松木 克仁 名古屋医療センター	築川 樹 三重中央医療センター

合同症例カンファレンス	オンデマンド研修会
近藤 芳皓 名古屋医療センター	コアメンバー
西山 由紀子 金沢医療センター	
大井 勇秀 三重中央医療センター	
地田 凌 東名古屋病院	

## 6) 令和7年度予算案

前年度同様、論文賞、ZOOMライセンス料、日病薬認定薬剤師の研修会審査料+システム利用料、抄読会活動経費、研修会の経費を計上する。委員会の経費削減に努めるため、今年度も薬剤部科長協議会の競争研究費獲得を目指す。

### 3. 令和7年度 前期活動報告

#### ○ 第8回 THP 合同症例カンファレンス

日時：2025年7月1日（火） 17時30分～18時30分

場所：Zoomによる口頭発表

座長： 東名古屋病院 薬剤部 地田 凌

#### 1) 「中咽頭がん・HIV患者への介入」

名古屋医療センター 薬剤部 高田 紗衣

#### 2) 「尿路感染に対してセフェピムへの切り替えを提案した一例」

三重中央医療センター 薬剤部 西頭 孝樹

#### 3) 「皮膚潰瘍における薬学介入の事例」

静岡医療センター 薬剤部 武田 紗和

### 4. 学術研究委員会主催の勉強会

#### ○ 「学会発表をしてみよう！学会発表準備のいろは塾」

日時：8/19（火）、8/22（金） 17時45分～19時00分

場所：Zoom

#### ○ 「Web論文抄読会」

日時：6/5（木）、7/24（木）、9/11（木） 17時30分～18時30分

場所：Zoom

6/5：PCI後に使用する抗血小板薬の選択

7/24：CTR<sub>X</sub>の投与方法は1回1g、1日2回がよいか、1回2g、1日1回がよいか

9/11：なぜG-CSFは化学療法の24時間以内に投与してはいけないのか

#### ○ 「臨床研究の進め方に関するオンデマンド研修会」

日時（現地開催）：2025年3月22日（土）

日時（オンデマンド開催）：通年

## 編集後記

会誌 Vol. 34 を発行します。

今回の施設紹介の中で東名古屋病院公式キャラクターの「ウメモリん」が紹介されています。病院の象徴となるキャラクターが存在する施設はそれほど多くはないと思いますが、当院（天竜病院）にも「りゅうりゅうくん」という公式キャラクターがいます。誕生には様々な理由があるようですが、りゅうりゅうくん（着ぐるみ）が病院内外のイベントに登場することで病院に親しみを持っていただくと共に地域に愛されるキャラクターを目指しています。参考までにネット上にPVがありますので興味のある方はそちらをご覧ください。各施設を象徴するキャラクターが広がっていくのも面白いかもしれませんね。

ちなみに、以前聞いた話しでは天竜病院より東名古屋病院へ赴任した職員が公式キャラクターの作成を強く要望し、その後「ウメモリん」が誕生したらしいとか...

東海北陸国立病院薬剤師会会誌 第 34 号 令和 7 年 10 月発行

発行元 東海北陸国立病院薬剤師会

（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター薬剤部内）

発行人 会長 竹内 正紀（三重中央医療センター）

編集 広報担当理事 三井 陽二（天竜病院）

